

発言No. 17

受付No. 12

令和4年8月24日

9時40分受付

一般質問発言通告書

議席番号 17 番 氏名 永見 利久

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農業の振興について

(1) 農業用資材の高騰への対応について

浜田市における農業の主力作物は水稻で、米価は生産者にとっては厳しい価格で、その上、農業用資材のほとんどが高騰、特に高度化成肥料等については、高騰が著しい。

原油価格高による重油など油類の値上がり、電気料金の上昇で、農業を取り巻く環境は大変厳しい状況であり、離農者に拍車がかかるのではないかと。そして、遊休農地や耕作放棄地がますます増加し、環境美化にも大きい影響が出るとの思いで、以下の質問を致します。

- ① 過去、5年間の農業所得の傾向について伺う。
- ② 農業用資材の高騰の状況についての認識を伺う。
- ③ 今後の農業所得の見込みについて伺う。
- ④ 今年、新たに遊休農地、耕作放棄地となった農地面積について伺う。
- ⑤ 農業を取り巻く環境は大変厳しい状況だが、水稻に対する支援について、市長はどの様に考えられているのか伺う。

(2) 中山間地域の後継者・担い手確保対策について

- ① 市長は直接市民の声を聴き、市政に反映させることを目的に「地域の日」を設けられ、7月に「若者対策」のテーマで、若者が暮らしたいまちづくりについて、各地域で意見交換をされました。後継者問題について、どの様な意見が出されたのか伺う。
- ② 出された意見に対して、今後どの様な取り組みに繋げていくのか伺う。
- ③ 浜田市として今後の担い手確保の考えを伺う。
- ④ 2年前に、中山間地域の活性化に対して、中山間地域振興枠制度を作られたが、その取組状況について伺う。
- ⑤ 今後の中山間地域振興枠の政策展開を、どの様に考えておられるのか伺う。

発言No. 18

受付No. 21

令和4年8月24日
10時 52分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 21 番 氏名 川神裕司

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 健康を守るためのワクチン接種を取り巻く課題について

(1) 円滑な新型コロナウイルスワクチン接種体制強化について

- ① 当市の感染状況は非常事態。今まで以上の感染防止対策の強化が求められる。やはり有効な対策として「ワクチン接種」は不可欠と考えるが、今後4回目接種を円滑に行うための接種体制強化の方針に関して市長の認識を問う。
- ② 小児への新型コロナウイルスワクチンは「接種推奨」の方針であったが、8月8日、厚生労働省専門部会は、「第7波」で多くを占める小児の発症を一定程度防ぎ重症化予防も期待できる新たなデータが示されたとして、予防接種法第9条の「努力義務」を課すことで了承。市として国の方向転換を受けて小児接種に関し説明責任も含めどのような推進体制を構築するか方針を問う。

(2) ワクチン助成に対する基本的考え方と今後の拡充について

- ① 現在浜田市において定期予防接種・任意予防接種等各種ワクチン接種に助成を行っているが、助成を決定する際の基本的な考え方について問う。
- ② 現在日本では子供も大人も毎年多くの方が、ワクチンで予防できるはずの病気(VPD)に感染して後遺症を持ったり死亡したりしている。特に子供達にとってはこのVPDに対する対処は極めて重要で、ワクチン接種率の向上が子供達の未来に光を与える。任意接種ワクチン助成の拡充に対する見解を問う。
- ③ 最近コロナ禍の中で「带状疱疹」の発症率が増加したとの報告。コロナ禍による生活によるストレスが原因であることを指摘。50歳から80歳までに3人に1人は感染するとのデータがあり、带状疱疹後神経痛(PHN)は想像を絶する痛みの場合もあるとのこと。2016年乾燥弱毒性水痘ワクチンに带状疱疹予防効果が効能追加。先進自治体では既に一部助成が始まっているが当市も検討の必要がある。市民から議会への意見にも出されており市長の考え方を問う。

2 観光戦略の中核となり得る石見神楽の振興について

(1) 浜田市の今後の観光戦略の方向性について

- ① 現在日本において観光産業は大きな成長分野と認識している。同様に地方においても「資源発掘の視点」「顧客価値の視点」等を大事に今後の地域観光戦略を考える必要がある。これからは、この地域でしかないものを創り、地方観光客数より観光消費額を重視する「儲ける」観光産業に挑戦する必要がある。
人口減少と経済低迷に喘ぐ浜田市を救う観光戦略に対する市長の見解を問う。

(2) 観光戦略における石見神楽の位置づけについて

- ① 世界に誇る石見神楽が「日本遺産」に登録されて全国的に認知度が向上した。また先般の国立劇場公演は浜田市のPRにも大きく貢献したと感じている。市長が国立劇場公演で多くの観客に対して「石見神楽のまち 浜田」へぜひ来て神楽や食を堪能してほしいと発言。その想いをぜひ観光戦略に反映して欲しいが、観光戦略における石見神楽の位置づけについて市長の見解を問う。

(3) 石見神楽に関わる「ものづくり」に対する文化財指定の取組について

- ① 本年3月定例会議で「石見神楽を創り上げた町はまだ」をより認識していただくためにも、石見神楽伝統産業の早急な文化財指定を進めるべきと指摘した。国立劇場公演市長挨拶で、浜田市は神楽に係る「ものづくり」のまちでもあると語られた。「神楽産業」の文化財指定の今後の具体的なロードマップを問う。

(4) 石見神楽伝承拠点施設の設置推進について

- ① 昨年12月定例会議において、石見神楽伝承拠点施設の設置に関する提案を行った。しかし必要性も認めつつも多くの課題があり今後検討していくとの答弁であったと認識している。日本遺産として注目されているこの財産を守り、観光振興の核として活用するためにも、石見神楽に特化した文化交流拠点が必要と考えるが再度、市長の見解を問う。
- ② 先日地元酒造会社の酒蔵跡地の取得、活用に関して浜田市の前向きな取組が報道された。実は平成23年、高松市 長浜市・坂出市・沼津市・浜田市の5市で「国際戦略総合特別区」指定申請書を提出している。その中で浜田市の提案部分に酒蔵跡地を活用した神楽ミュージアム&レストラン+神楽伝承館プロジェクトと駅周辺の活性化計画が提案されている。この計画は現在どう位置づけられているのか市長の認識を問う。

(5) 石見神楽振興基本条例の設置について

- ① 石見神楽の保存、継承、さらには観光産業の核としての取組推進は今後の浜田市の発展に大きく影響する。今後石見神楽をどう守り、どう活用するのかの方向を明確にするためにも、過去数回提案させていただいた「浜田市石見神楽振興基本条例」の設置が必要と考えるが改めて市長の見識を問う。

発言No.

19

受付No.

19

令和 4 年 8 月 24 日
10 時 37 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 9 番

氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者
(○をつける)

○市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 労働者協同組合について

いよいよ10月1日の労働者協同組合法施行まで1カ月をきりました。これまで数回にわたり質問してきましたが、改めて確認させていただきたいと思います。

(1) 担当部署について

- ① 前回の質問の時点では担当窓口が決まっていませんでしたが、その後の状況と県からの働きかけ等があるのかを伺います。
- ② 執行部としてこの組合設立により、協働のまちづくりの推進に期待するところがあるか伺います。
- ③ 他の部署との連携が必要になることも想定されますが、連携について検討されたか伺います。

(2) 市民への周知について

- ① これまでの質問の答弁で、まちづくりセンターやまちづくり組織へのチラシ配布や情報提供とありました。雲南市での説明会の参加者にはボランティア活動を行っておられる団体などでも参加されており、現在の運営がよりやり易くなるのではとの期待を持っておられることがうかがえました。浜田市でも直接説明を受ける機会を持っていただきたいと思いますが、ご所見を伺います。

2. 医療について

(1) オンライン診療について

- ① 診療所の医師の確保が難しい状況がある中で、引き続き医師の確保と併せて、オンライン診療の検討が必要と考えます。先進地の情報収集などに取組まれているのか伺います。

(2) ワクチン助成について

- ① 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種が進められていますが、国の助成制度が始まってからの接種状況の推移と効果について伺います。
- ② 帯状疱疹を患ったと話される方が、身近なところでもよくおられます。ひどい方だと長期間体調が悪くなるなど重症化することもあることから、最近ではワクチン接種に対して助成する自治体も増えてきています。浜田市でもぜひ取組んでいただきたいと思いますが、ご所見を伺います。

3. 困難を抱える女性支援について

(1) 困難女性支援法について

- ① 今年5月に困難女性支援法が成立し、2024年4月1日から施行されます。国が基本方針を定め都道府県は義務、市町村では努力義務として基本計画を策定することになると伺っています。また、新法では当事者を中心に、関係機関が民間団体などと連携して支援を行う仕掛けとして、「支援調整会議」を法定化しました。都道府県と市町村は単独または共同で設置できるとのことですが、浜田市として設置を考えるのか伺います。

発言No. 20

受付No. 4

令和 4 年 8 月 22 日
10 時 59 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 19 番 氏名 田畑 敬二

答弁を求める者 ○市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 浜田地域協議会との意見交換会について

(1) テーマ「地域防災」について

- ① 1983年7月豪雨から39年が経過するが地域の防災力はどのような状況か伺う。
- ② 浜田地域においては、防災用の屋外スピーカーが設置されているが、雨天時には、全く聞き取れないとのことであるが、どのような認識か伺う。
- ③ 県管理河川へ流れ込む、浜田市の管理河川の浚渫を含む管理はどのような状況か伺う。
- ④ この災害を教訓にして、浜田市の防災計画等の市民に対する周知方法について伺う。
- ⑤ 1872年3月14日浜田地震が発生して、150年になり、近いうちに大震災が発生する可能性があると考えられるが、その震災対策について伺う。
- ⑥ 通学路にブロック塀や歩道と車道との境界ラインが消えている場所が数多くあり、通学路として危険な状況であるが、その認識について伺う。
- ⑦ 自主防災組織設立について、どのような状況か伺う。

令和4年8月24日

9時59分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 14 番 氏名 布施 賢司

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 高齢者等に向けたデジタル活用支援の推進について

政府では、「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」において、「誰一人取り残さない、人にやさしい、デジタル化」を進めています。社会全体のデジタル化が進められる中、高齢者をはじめとした誰もがデジタル機器・サービスを活用（デジタル活用）することで、多様な価値観やライフスタイルを持ちつつ、豊かな人生を享受できる共生社会を実現することが重要だとしています。

- ① 総務省は令和3年度から、高齢者等が身近な場所で身近な人からデジタル活用について学べる講習会等を推進する「デジタル活用支援推進事業」を類型A（携帯キャリアが携帯ショップで実施）、類型B（地元ICT企業やシルバー人材センター等が地方公共団体と連携して公民館等で実施）で開始していますが、浜田市の取組状況を伺います。
- ② この事業では主に高齢者のデジタル活用を支援する「講習会」や講師が必要になってくると思われますが、浜田市にはICT（情報通信技術）を使える高齢者育成を掲げる「シニアネットはまだ」の団体があります。その団体と連携してこの事業を推し進めることができなにか伺います。

2 旭地域協議会との意見交換会について

(1) テーマ「人口減少」について

① 多くの委員から地域の現状（買物弱者の支援、ネット環境対策、交通手段、生活基盤関連施設の存続等）において、人口減少に拍車がかかっているのではないかと意見が多数ありました。旭町だけではなく中山間地域全体の問題として早急に取組んでいく必要性を改めて感じましたが、市長のご所見を伺います。

(2) テーマ「旭の施設、資源等の今後」について

① 棚田の維持修繕について、地元委員より中山間地域枠で棚田保全活動助成事業補助金を活用して修繕してきたが、予想もしない大雨が降り一番上の石が崩れると、上から下まで全滅状態みたいになる。修繕に対して今年度も2件の要望があり、手出しがあったとし

てもまだ補助金があるうちは維持修繕ができますが、予算付けが終了すれば将来的に耕作放棄地になってしまう可能性を言われました。浜田市における棚田保全に対しての考えを伺います。

② 鉄道遺産である、旭町丸原の広浜鉄道周辺の手すり等がほとんど朽ちていて、見学するには危険箇所があることを地元委員から指摘されました。昨年「全国未成線サミットはまだ」が開催されましたが、数年の準備期間中、ハード整備には予算がついて整備していただいていたと思っておりましたが、この箇所は観光資源の一つとして点検し、対処してこなかったのか伺います。

③ 旭温泉において、コロナ禍で1事業所止められたと聞いており、旭温泉施設は大丈夫なのかと危惧する声が地元でもあります。温泉施設の現状と旭温泉あさひ荘の指定管理者募集の状況を伺います。